



Invito alla musica antica

バロック音楽への招待状 *Vol. 3*

Tempo di Pace

プロイセンの君主を虜にしたヴェネツィアの色彩

[日時] 2017年 10月 8日(日)

第1回目 [開演] 14:00 [開場] 13:30

第2回目 [開演] 17:00 [開場] 16:30

[会場] 松本記念音楽迎賓館

[チケット] 全席自由席

[前売] 大人 3,500円、学生 (大学生以下) 2,000円

当日は500円増し

*未就学児のお子様のご入場はご遠慮ください。

[出演]

オーボエ

藤井貴宏

チェロ

高橋弘治

チェンバロ / パイプ・オルガン

竹口苗里

Program

G.B. フォンタナ：ソナタ 第3番

A. ヴィヴァルディ：オーボエソナタ ハ短調 RV. 53

C.H. グラウン：チェロソナタ ハ長調 B: XVII: 53 * チェロ & チェンバロ

J.S. バッハ：オーボエソナタ ト短調 BWV 1020 他

[チケットお申込み・お問い合わせ]

*Email invitomusica@outlook.jp *Tel. 090-1460-3697 (竹口)

[主催者] Invito alla musica

Invito alla musica antica

バロック音楽への招待状 Vol.3

Tempo di Pace

プロイセンの君主を虜にしたヴェネツィアの色彩

18世紀、プロイセン(現在のドイツ東部、ポーランド)の君主であったフリードリヒ大王はオーストリア、フランス、ロシア、スウェーデン、ザクセンなどのドイツの諸侯などと拮抗しながら優れた軍事的才能を発揮しプロイセンの強大化に実現した優れた政治家でした。しかし一方でフルートを演奏したり、作曲、本を執筆するなどロココ宮廷人らしい万能振りを発揮するような人でした。その大王にとって激務で疲れた心と身体の慰めであったのが自ら設計に関わり別邸として建設したサンスーシー(憂いの無い)宮殿での生活だったようです。そこに優れた芸術家を集らせたり、世界初であった画廊を設けたり、またオペラ劇場を建設するなどして、芸術家を手厚く庇護しました。J.S. バッハの息子の C.P.E. バッハもこの大王のもとで働いており、その縁で大バッハは1747年にこの宮殿を訪れ、大王によって与えられた即興演奏のためのテーマがインスピレーションとなつてその傑作「音楽の捧げもの」が生まれた場所でもあります。

今回演奏される C. H. グラウンは大王のお気に入りの音楽家でした。グラウンはイタリアで勉強して戻って来ていた指揮者の J. C. シュミットの元でテノール歌

手として働くなどしてその作曲法を学び、フリードリヒの結婚式のために作曲したイタリアオペラが大王に大変気に入られ、それ以来お抱えの作曲家になります。フリードリヒ大王はプロイセンの君主の就任にあたり、建設するベルリン国立歌劇場のための歌手を集めるためにオペラの本場イタリアにグラウンを派遣し、今も続くこの歌劇場の第一代目の音楽総監督に任命しました。

第3回目となる「バロック音楽への招待状」シリーズの今回のコンサートでは、このグラウンのチェロソナタを始め、この宮殿で演奏された音楽を後半に、前半にはこの音楽家たちが強く憧れ、勉強、研究していた、艶やかで魅惑的なイタリアの音楽を演奏いたします。

ほぼ同時代も建てられたヴェルサイユ宮殿やシェーンブルン宮殿、エカテリーナ宮殿と比較すると驚くほどシンプルですが、大王の趣味を反映した落ち着いた建物であるポツダムのサンスーシー宮殿のサロンに模して、松本記念音楽迎賓館のサロンで開催いたします。ゆったりとした秋の午後のひとときを過ごすにいらしてください。

出演者プロフィール



藤井貴宏 Takahiro Fujii

オーボエ

東京藝術大学音楽学部器楽科オーボエ専攻卒業。オーボエを和久井仁、小畑善昭、松山敦子、小林裕の各氏に師事。バロックオーボエを三宮正満、尾崎温子の各氏に、指揮を村方千之氏に師事。2005～2008年兵庫芸術文化センター管弦楽団オーボエ奏者を務め、2009年H. シェレンベルガー氏の招きにより渡独、氏の下で研鑽を積む。ソロ、室内楽の他、東京佼成ウインドオーケストラ、バッハコレギウムジャパン、ヤコブスブラッツ・オーケストラ・ミュンヘン、エルサレム交響楽団、チロル音楽祭やバチカン国際音楽祭等に参加、またジョルジ・エネスコ・フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団他とソリストとして共演。室内楽ではT. コープマン、M・トルコヴィッチ、安永徹、工藤重典、H. シェレンベルガー氏等と共演。アンサンブル est、アンサンブル・ハンスベルガー各メンバー。ドイツ・ミュンヘン在住。



高橋弘治 Koji Takahashi

チェロ

桐朋学園大学音楽学部卒業、ブリュッセル王立音楽院(ベルギー)古楽器科修了。2001年、ラ・プティット・バンドのヨーロッパ・ツアーにおいてソリストを務める。その後、2007年までラ・プティット・バンドのメンバーとして演奏活動を行う。帰国後は古楽器とモダン・チェロの両方の楽器を用いて、ソロ、コンチェルトのソリスト、室内楽、オーケストラなどで活発に演奏活動を行っている。2011年よりチェンバロ奏者の岡田龍之介氏が主宰する古楽アンサンブル『ムジカ・レセルヴァータ』の中心メンバーとして日本各地で様々な演奏活動を行っている。2015年11月には指揮者として三重県四日市市にて「四日市シンフォニックコーラス」第27回定期演奏会にてヘンデルのオラトリオ「メサイア」全曲を指揮するなど活動の場を広げている。現在、桐朋学園大学音楽学部附属「子供のための音楽教室」名古屋教室講師。



竹口苗里 Eri Takeguchi

チェンバロ

東京藝術大学音楽学部、アムステルダム音楽院修士課程を卒業後、09年度文化庁芸術家在外研修員として、ドイツ・ザールブリュッケン音楽大学にてゾリステン課程を修了、ドイツ国家演奏家資格を取得。2010年アムステルダム・スウェーリンク・コンクール第1位。2009年ギーゼキング・コンクール・オルガン部門第2位(1位なし)。2007年第8回ジルバーマンコンクール・ファイナリスト。ドイツ、オランダ、スペイン、イタリアなどでのオルガニストとして活動の他、チェンバリスト、通奏低音奏者としてヨーロッパ・日本での各地で演奏活動を行っている。オルガンを広野剛雄、ビーター・ファン・ダイク、アンドレアス・ロートコフ、チェンバロをルッツ・ギルマン、エンリコ・バイアーノ、アンサンブルを今井奈緒子の各氏に師事。ラムシュタイン・ルター派教会オルガニスト、ザールランド音楽大学伴奏員。

Access

松本記念音楽迎賓館

東京都世田谷区岡本 2-32-15

TEL : 03-3709-5951



■バスを利用の場合

東急田園都市線「二子玉川駅」より

→東急コーチ玉31成育医療センター行き、または玉32美術館行き
停留所「もみじが丘」または「岡本三丁目」下車
徒歩4～5分

■小田急線「成城学園駅前」より

→東急バス都立01都立大学駅北口行き
停留所「岡本三丁目」下車
徒歩4～5分

■タクシーご利用の場合 → 岡本二丁目、泉の家のウラ

〔協賛〕

HINOKIYA

ヒノキヤグループ

〔後援〕日独協会、東京藝術大学同声会、湘南みつばち倶楽部